

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	9 管理運営等
中項目	
小項目	9.0.1 管理運営の独立性
要素	①会計大学院における教育活動等を適切に実施するためにふさわしい独立の運営の仕組みを有していること。 ②会計大学院の教育課程、教育方法、成績評価、修了認定、入学者選抜に関する重要事項については、会計大学院の教育に関する重要事項を審議する会議における審議が尊重されていること。 ③教員の人事に関する重要事項については、会計大学院の教員の人事に関する会議における審議が尊重されていること。 ④会計大学院における教育活動等を適切に実施するためにふさわしい十分な財政的基礎を有していること。
小項目	9.0.2 自己点検及び評価
要素	①会計大学院の教育水準の維持向上を図り、当該会計大学院の目的及び社会的使命を達成するため、当該会計大学院における教育活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表していること。 ②自己点検及び評価を行うに当たっては、その趣旨に則し適切な項目を設定するとともに、適当な実施体制が整えられていること。 ③自己点検及び評価の結果を当該会計大学院の教育活動等の改善に活用するために、適当な体制が整えられていること。 ④自己点検及び評価の結果について、当該会計大学院を置く大学の職員以外の者による検証を行うよう努めていること。
小項目	9.0.3 情報の公表
要素	①会計大学院における教育活動等の状況について、印刷物の刊行及びWEBサイトへの掲載等、広く社会に周知を図ることができる方法によって、積極的に情報が提供されていること。 ②会計大学院の教育活動等に関する重要事項を記載した文書を、毎年度、公表していること。
小項目	9.0.4 情報の保管
要素	評価の基礎となる情報について、適宜、調査及び収集を行い、適切な方法で保管されていること。

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 財政的基礎を確保するために、入学定員充足率1.0を維持する。	→定員充足率	C
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

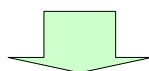
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目9.0.1	(現状説明) 会計専門職専攻である本会計大学院の運営を円滑に行うために、会計専門職専攻に属する専任教員によって構成される専攻会議が設置されている。専攻長は専攻会議委員の互選で選出されている。専攻会議は、カリキュラム、人事、その他について協議し、議事により研究科教授会もしくはカリキュラム委員会に提案する。
☆ 小項目9.0.2	(現状説明) 経営戦略研究科自己評価委員会の中には、授業評価・FD 部会と、分野別評価委員会を設けている。前者では、授業評価アンケートに関する分析と学生グループインタビューを実施し、その結果を「授業評価アンケート報告書」としてまとめている。また、教員相互授業参観を実施し、その後に意見交換会を実施し、授業改善に向けた取り組みを実施している。分野別評価委員会については、会計専門職専攻は、2008年度には会計大学院評価機構による認証評価を受け、適合との評価を得た。
☆ 小項目9.0.3	(現状説明) 教育活動等の状況について、様々な出版物やメディアを通じて情報提供を行っている。WEB サイトで各種の情報を提供していることはもとより、それ以外に、学術雑誌（『ビジネス&アカウンティングレビュー』及び『IBA ジャーナル』）、関西学院大学研究叢書、大学自己点検評価報告書である『関西学院大学白書』、『関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科 会計専門職専攻 自己評価報告書』、WEB 上に掲載した教員の研究業績等がある。
☆ 小項目9.0.4	(現状説明) 評価の基礎となる情報が適宜、調査及び収集されており、適切な方法で経営戦略研究科事務室に、5年間、保管するものとされている。認証評価の必要性から、特に、試験等答案については、5年間、収蔵書庫にて保管している。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目9.0.1	
小項目9.0.2	
小項目9.0.3	
★小項目9.0.4	
その他	



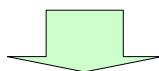
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目9.0.1	
小項目9.0.2	
小項目9.0.3	
★小項目9.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目9.0.1	
小項目9.0.2	
小項目9.0.3	
★小項目9.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目9.0.1	
小項目9.0.2	
小項目9.0.3	
★小項目9.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 現状説明の記述は明確です。
- HPでの情報を含め様々な媒体で情報の積極的な発信が見受けられ評価できます。
- 「6 入学者選抜等」でも記していますように、現員が収容定員より下回っていることに対する方策を改善すべき事項と捉え、その方策の記載が望まれます。
- 2008年に受診した分野別認証評価に関する要望事項(授業アンケート調査結果を教育活動に反映させていることは評価できるが、学内評価委員会の評価結果についても、会計大学院の教育活動に反映させるように検討を開始されることを要望する)への対応はいかがでしょうか。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ ○受験者数の増加を図るために、公認会計士養成プログラム、自治体会計コースのパンフレットを作成、配布した。また、大学院での教育実践を体感できるように、HPなどの広報媒体の充実を図っている。
- 大学院教育に関する無料セミナーを開催する。
- 学内評価委員会の評価結果を教育活動に反映されるよう、専攻会議の協議事項とする。